



大切にしたい「思いやり」の心

館長 岩越 悟志

新年、明けましておめでとうございます。
皆様におかれましては、輝かしい希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年中は、公民館の事業活動に対して、温かいご理解と多大なご支援をいただき心より感謝申し上げます。

さて、2026年の干支は「午(うま)」です。馬は本来、常に前を向き歩み進む動物だと言われています。また、馬は群れて生活し、お互いを支え合う動物でもあります。

私たちが馬の駆ける姿のように、勢いよく目標に向かって進むとともに、人間関係においては、お互いを支え合う「思いやり」を大切にしながら、素晴らしい一年にしていきたいものです。

ところで、その「思いやり」とは何かということを考える時に、アメリカの小説家オー・ヘンリー著「賢者の贈り物」から答えの一つを得ることができます。

その小説には、貧しい夫婦が互いにプレゼントをする話がかかれています。妻は、夫が祖父から譲り受けた金時計にふさわしい「プラチナの鎖」を、夫は、妻の魅力の一つである長い髪に飾る「べっ甲の櫛」をプレゼントすることに決めました。しかし、プレゼントを買うお金がなかったので、妻は自分の長い髪を切って売り、夫は金時計を売ってお互いへのプレゼントを買ってしまったのでした。

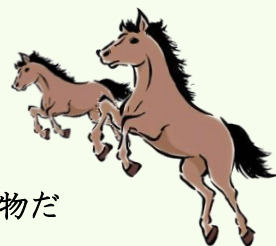
そして、いざ互いにプレゼントをしたときには、夫に金時計はなく、妻には櫛で留めるだけの髪の毛がなかったので、どちらのプレゼントも相手の役には立てなくなっていました。それでも夫婦は、贈り物は使えなくても、深い愛情が確かめられ、喜びを感じたという話です。

そのことから、本当の贈り物とは、物そのものではなく、相手を思いやる心や愛情であるということに気付かされます。この夫婦は、どんな困難に直面しても、この時の互いへの深い愛情を思い出し、支え合いながら乗り越えていくことでしょう。

人生には予期せぬ困難がつきものです。そんな時に、私たちの心を強く支え、乗り越える力を与えてくれるのが「思いやり」です。この小説の夫婦のように、相手を気遣う気持ちがあるだけで、困難の中にある人は大きな心の安らぎを得られるはずです。先の見えない時代だからこそ、相手の思いに気づき、助けたいと寄り添うことを大切にしていきたいものです。

午年の新しい年が、皆様にとって何事もウマくいく年になりますことを願うとともに、公民館としては「集い・学び・つながり」伊敷地域の生涯学習の場と交流の拠点として、皆様とともに前に歩み続けていく一年でありたいと思っています。

職員一同、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



<地域公民館音楽祭>

各地域公民館等で活動している自主学習グループ生等が一堂に会し、その学習成果を発表し合い、親睦を図ります。

伊敷公民館からは**女声合唱いしき**が出演します。

期日：令和8年1月18日(日)

時間：13:00～16:00

会場：サンエールかごしま

ご鑑賞・ご観戦にお越しください

<公民館新春かるたとり大会>

各地域公民館で講座を受講した小中学生及び自主学習グループ生等が一堂に会し、競い、練習の成果等を発揮します。

伊敷公民館からは**伊敷ジュニアかるた会**が出場します。

期日：令和8年1月12日(月)

時間：13:00～16:15

会場：西原商会アリーナ



《 親子参加型の人気高し！公民館後期講座 》

例年受講希望の多い「クリスマスリースづくり」や「クリスマスケーキづくり」、「レッツイングリッシュ」など、親子で参加できる講座が、今年も好評のうちに終了しました。

各講座では、親子の笑顔があふれ、楽し気に活動する様子が見られました。

【『親子でレッツイングリッシュ！』講座に参加した方の声】

- 異年齢の子たちとの交流もでき、親子で英語を楽しみました。自分よりも小さな子が英語を話すのを見て、刺激を受けているようでした。家でも英語で遊ぶ時間が増えました。とてもいい時間でした。



今年度から、文字を書く楽しさを味わうことを目的として「季節を楽しむ手書き文字（ペン習字）」を新しく開設しました。

受講者は、手本をもとに季節ごとの課題文章に取り組んだり、時候にまつわるミニ知識を学んだりしながら、書き上げた文字をミニスタンドに飾り、互いに鑑賞し合うなどの活動に取り組みました。

受講者からは、「文字を書くことが減る中で、緊張しながら文字を書くという機会は新鮮な時間になった。」や「文字を書く技術を身に付けるだけでなく、自分の書いた文字が好きになった。」という感想が寄せられるなど、充実・満足感を味わっていました。



《 図書室休室のお知らせ 》

伊敷公民館図書室は、図書の特別整理（蔵書点検等）のため、以下の期間は**休室**します。

期間：令和8年1月19日（月）から 令和8年1月30日（金）まで

※ 期間中の本の貸し出しはできません。

※ 返却は支所等のブックポストをご利用ください。（大型絵本・紙芝居を除く）

※ 市立図書館や他の地域公民館図書室も同様ですが、天文館図書館は開館しています。ただし、市立図書館の研修室は8：30から18：00まで利用可能です。



冬の心豊かで元気あふれる「さつまっ子」を育てる運動

＜期間＞ 令和7年12月15日（月）～令和8年1月31日（土）

テーマ： 伸びよう 伸ばそう「さつまっ子」

＜趣 旨＞

年末年始は、家庭でのだんらんや地域行事への参加を通して、ふるさとへの理解を深めたり、新年の目標を立てたりするなど青少年の成長過程にとって貴重な機会となります。

青少年の夢や希望をはぐくむこの良い機会に、次代の鹿児島市を担う心豊かで元気あふれる「さつまっ子」を育成する取組を行います。

＜重点事項＞

- 1 青少年の地域活動を積極的に推進しましょう。
- 2 あいさつ運動を展開し、地域で青少年を育てましょう。
- 3 明るい家庭づくりに努めましょう。
- 4 スマートフォン、ゲーム機器等の正しい使い道やネットトラブルについて、家庭や地域で話し合いましょう。

＜ 令和8年 鹿児島市「はたちの集い」 ＞

【期日】 令和8年1月11日（日） 【時間】 11：00 ～ 12：40

【対象】 平成17年4月2日から平成18年4月1日までに生まれた方々
（現在鹿児島市民又は本市学校の卒業生で他県・他市から帰省中の方）

【会場】 宝山ホール（県文化センター）・中央公民館

※ 詳細は、鹿児島市のホームページ等でご確認ください。

